

網走養護学校だより



平成29年度
第 6 号
(通巻193号)
2月23日発行

TEL 0152-48-2137

「時代の変化について考える」

教頭 渡部 眞一



オリンピック冬季競技会が韓国・平昌（ピョンチャン）で開催され、熱戦が繰り広げられました。そしてオリンピック閉幕後の3月にはパラリンピックが開催されます。2年前のリオパラリンピックでは多くの選手の活躍があり、本道出身の選手を含め多くの選手の活躍が私たちに感動と興奮を与えてくれました。国連の障害者権利条約を日本が批准する前の「TV放映はオリンピックばかりでパラリンピックは話題にも上らない」という状況を思い返せば、時代は今も良い方向へ変わりつつあると感じます。

時代の変化と言えば、最近「意思決定支援」という言葉が話題に上がるようになりました。イギリスでは既に「意思決定能力法」が定められており、支援者が先入観で判断しないように、また本人が主体的に選択できるように様々な事柄に言及しています。具体的には「本人がリラックスした状態で必要な情報を呈示する」や「支援機器等を用いて適切な選択肢をわかりやすく呈示する」など、個々の状況から察しうる必要な支援について努力を怠らないようにする取り組みが多くあります。また、意思決定支援においては、たとえ賢明ではない判断をしたからといって安易に遮らず、支援する側は本人に意思決定のベストチャンスを提供するよう最善を尽くすことになります。

数年後自動車の自動運転は実用化される見込み、また、今後様々な業務でAI（人工知能）が用いられるとの予測もあります。支援者にとっては、本人に何が必要なのかを考える際に、固定的な判断ではなく社会の変化を見極めることも重要な鍵となりそうです。

冬のセミナーの開催

平成30年1月12日（金）に本校体育館に於いて、オホーツク地域の教育関係者およそ50名を対象に冬のセミナーを開催しました。セミナーには北海道特別支援教育センターより田野大介氏をお招きし、講演を行いました。演題は「学習指導要領改訂に向けて～特別支援教育でのアクティブラーニングの視点～」として、新学習指導要領についてご講演いただきました。

学習指導要領とは教科の大まかな内容や目標が書かれたもので、私たち教師全員が持っているマニュアルのようなものです。普段行う授業の根拠として学習活動を組み立てているとても大切なものになります。来年度から一年おきに幼稚園、小学校、中学校、高校の順に改訂されます。

今回の研修で毎日の授業が児童・生徒一人一人にとって、よりよい内容になればと考えています。

（文責：折）

～今年度の訪問教育学級～

今年度は小学部2名、中学部7名、高等部4名の計13名が家庭や美幌療育病院で勉強しました。毎回の勉強はもちろんのこと、春の入学式、始業式からはじまり、6月には家庭や美幌療育病院でそれぞれ運動会を行ったり、学校で行われた運動会に登校学習で参加した生徒もいました。施設では、7月と9月に近くのコンビニエンスストアへ買い物学習に出かける校外学習も行いました。10月の学校祭は、家庭では劇、施設では音楽発表会を行いました。12月には毎年恒例となったALT交流も行い、今年度も盛りだくさんの一年間でした。
(文責：内海)



寄宿舎クリスマス会のご報告

12月18日寄宿舎でクリスマス会が開催されました。

寄宿舎生によるダンスと唄のイベントあり、学校長・教職員による楽器・バンド演奏あり、サンタさんからのプレゼントあり(保護者の皆様ご協力ありがとうございました)、豪華なディナーと甘いケーキありの盛りだくさんの内容となりました。会の最中はどの場面を切り取ってもインスタ映え間違いなしなほど、笑顔いっぱい楽しい会となりました。

また来年もサンタさんに来てもらえるように、それぞれの目標に向かって頑張っていきましょう！
(文責：石崎)



編集後記

本年もどうぞ宜しくお願い致します。今回の学校便りでは、年末年始に行われた行事を中心にお届けしました。次回は今年度最後の学校便り発行になります。文責(飯田)